



中部大学創造的リベラルアーツセンター (CLACE) 第3回シンポジウム

リベラルアーツと民主主義

2023年6月10日(土)
14:00~17:00 (ZOOM使用)



事前登録制・参加無料(先着250名)

申込用URL: <https://forms.gle/xeRQrkZgrh6UiThV6>

(右のQRコードからもお申し込みいただけます)

問い合わせ先: clace@office.chubu.ac.jp

申し込み期限: 2023年6月2日(金)17:00 (ただし、定員に達した場合は期限前に締め切らせていただきます)

宇野重規

東京大学
社会科学研究所教授

重田園江

明治大学
政治経済学部教授

國分功一郎

東京大学
総合文化研究科教授



司会 石井洋二郎
中部大学創造的リベラルアーツセンター長

プログラム

14:00	開会	
14:00~14:05	主催校挨拶	: 竹内 芳美 (中部大学学長)
14:05~14:10	趣旨説明	: 石井洋二郎
14:15~14:45	宇野 重規	民主主義に教養は必要なのか
14:50~15:20	重田 園江	リベラルアーツはなぜ「価値を変える」 ことができるのか
15:25~15:55	國分功一郎	創出されるべきものとしての民主主義 ——ギリシアとローマ
15:55~16:05	休憩	
16:05~17:00	パネルディスカッション	
17:00	閉会	

パネリストのプロフィール

宇野重規 (うの・しげき)

1967年東京都生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士(法学)。専門は政治思想史。主な著作に『政治哲学へ 現代フランスとの対話』(東京大学出版会、渋沢・クローデル賞LVJ特別賞)、『トクヴィル 平等と不平等の理論家』(講談社学術文庫、サントリー学芸賞)、『<私>時代のデモクラシー』(岩波新書)、『民主主義の作り方』(筑摩選書)、『西洋政治思想史』(有斐閣)、『保守主義とは何か』(中公新書)、『民主主義とは何か』(講談社現代新書、石橋湛山賞)、『日本の保守とリベラル』(中公選書)、『近代日本の「知」を考える』(ミネルヴァ書房)などがある。

重田園江 (おもだ・そのえ)

1968年兵庫県西宮市生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、日本開発銀行を経て、東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。専門は、現代思想・政治思想史。主な著作に『フーコーの穴 統計学と統治の現在』(木鐸社)、『ミシェル・フーコー 近代を裏から読む』、『社会契約論』、『ホモ・エコノミクス』(以上、ちくま新書)、『連帯の哲学 I フランス社会連帯主義』(渋沢・クローデル賞)、『統治の抗争史』(以上、勁草書房)、『隔たりと政治』、『フーコーの風向き』(以上、青土社)、『真理の語り手 アーレントとウクライナ戦争』(白水社)などがある。

國分功一郎 (こくぶん・こういちろう)

1974年千葉県生まれ。東京大学総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。専門は哲学。主な著作に『スピノザの方法』(みすず書房)、『暇と退屈の倫理学』(朝日出版社・太田出版、紀伊國屋じんぶん大賞)、『スピノザ 読む人の肖像』(岩波新書)、『中動態の世界 意志と責任の考古学』(医学書院、小林秀雄賞・紀伊國屋じんぶん大賞)、『来るべき民主主義 小平市都道328号線と近代政治哲学の問題』(幻冬舎新書)、『民主主義を直感するために』(晶文社)、『近代政治哲学 自然・主権・行政』(ちくま新書)、『ドゥルーズの哲学原理』(岩波現代全書)などがある。